

訳者あとがき

ベトナム統計総局（General Statistical Office : GSO）により毎年出版されている統計年鑑は近年経済発展著しいベトナムの社会経済動向を把握するための基礎的な資料である。多くの項目について最上級行政単位である省（Province ; tỉnh）別にデータが掲載されており、各統計指標について時系列的な発展のみならず地域的差異の観察をも可能にしている。

2011年版統計年鑑においては、2010年版と比較し多くの統計表が追加されている。さらには各章初めに付記されている「統計指標の内容と導出方法、用語説明」については、内容がこれまでの版より詳しくなっており、利用者の便宜に沿う形で改善がなされている。

2010年版同様、産業別の項目において原則として2007年ベトナム標準産業分類（VSIC 2007 ; Vietnam Standard Industrial Classification 2007）が適用されている。VSIC 2007は、国際連合統計部により定められた国際標準産業分類改訂第4版（International Standard Industrial Classification revision 4 ; ISIC Rev.4）に基づき統計総局が作成したものであることから¹、VSIC2007とISIC Rev.4の分類項目はほぼ同じである。したがって、本文中の邦訳産業名については、日本の総務省統計局による『日本標準産業分類（2002年改訂、2007年改訂）と国際標準産業分類の分類項目比較表』に原則として従っている²。

また日本語での地名表記は、ハノイやホーチミンなど日本で浸透していると思われるものを除き、可能な限りベトナム語の発音を意識したものにしている。また原文における誤植の訂正箇所や補足説明が必要な箇所については適宜訳注を付けることで利用者への便宜を図っている。訳注はアラビア数字による注番号が付記されており、脚注形式で記載されている。

原資料はベトナム語と英語の併記であるが、原則として越文に基づいた邦訳が行われ、訳文の正確性には細心の注意が払われている。ただし、多くの方々に利用していただけるように、本邦訳版が日英併記であることを意識し、わかりやすく翻訳することを心がけた。特に各章初めに掲載されている「統計指標の内容と導出方法、用語説明」の専門用語については日本語での定訳を用いつつ、読みやすくなるように努めている。ベトナム語特有の概念・事象についても可能な限り、日本語でイメージし易い訳語を用いることに配慮した。

最後に、本邦訳の出版にあたり草稿の細かいところまでチェックしていただいた監修者の高橋墨氏、また出版の機会を与えていただき、出版に至るまでお世話になったビスタ・ピーエスの酒井洋昌氏に謝意を表したい。

2013年3月 NGUYEN THI THANH THUY

¹ ただし産業の3桁分類についてはASEAN共通産業分類ドラフト版（Draft ASEAN Common Industrial Classification ; ACIC）にも基づいている。詳しくはVSIC2007の序文を参照（VSIC2007は2013年7月8日現在ホーチミン市証券取引所のホームページ <http://www.hsx.vn> から入手可能）。また今回新たに加わった「210産業別工業生産指数」における産業分類では、VSIC1993の4桁産業分類が用いられている。

² 総務省統計局・政策統括官（統計基準担当）・統計研修所ホームページで利用可能。<http://www.stat.go.jp/index/seido/sangyo/19-6.htm>（2013年7月8日閲覧）なお「210産業別工業生産指数」の4桁産業分類の日本語訳については、独立行政法人経済産業研究所（RIETI）JIP2011データベースの「産業コード対応表」に掲載されている国際標準産業分類第3版（ISIC Rev.3）の日本語訳に従った。これは「210産業別工業生産指数」で用いられているVSIC1993がISIC Rev.3を基にしているためである。